

点字から感じ取れるそれぞれの「生き方」～点訳グループみちしるべ～

「ここはどう打ったらええんやろか」、「ここはこうしたらええわいしょ」と賑やかな声。毎月第1、第3土曜日に和歌山市あいあいセンターにて行われている、「点訳グループみちしるべ」さんの活動におじゃましてきました。

奥深い点字の世界。そこには点字を打つ人たちの「生き方」も垣間見えました。

みちしるべの活動は?

「点訳グループみちしるべ」は、和歌山市主催の点字講座第1回の修了者によって、1983年に結成されました。それから毎年6月～12月に行われる点字講座の修了者が入会し、31年間活動を続けています。「みちしるべ」という団体名は、人が進む方向に飛んでは止まる甲虫「ミチシルベ」にちなみ、結成当時のメンバーによって名づけられました。

点訳作業について

点訳はまず文章を分節ごとに区切る「分かち書き」の作業から始まります。正確に区切らないと、点字に影響が出てきます。点字はこの「分かち書き」が基礎となります。次に分かち書きをした文に従い、点字を打っていきます。打つのは点字板かパソコンをします。点字板では本1冊点訳するのに半年かかっていたのが、パソコンが導入されてから2～3か月に短縮されました。そして文章の校正。気が遠



最高齢91歳の岡本田鶴さんも「孫育てがひと段落して、自分の時間を持つようになった」ということから始めたそうです。なんと継続30年! 代表の上田よし子さんは、「点字は『お外で活動したい』っていう人より、『家でいるのが好き』っていう人に向いているのかな」と教えてくれました。自分の好きなときに好きなだけできるので続けられる。また様々な本と出会い、自分の世

界が広がっていくのも楽しい。「一冊終えた時の達成感が何ともいえないのよね」。コツコツ続けて来たものが実を結び、これが誰かの役に立るといふことが、長続きの秘訣なのかもしれません。月2回の活動で仲間と学び、情報交換をしながら楽しい時間を過ごし、自宅に戻ってコツコツと点訳作業をする。メンバーの皆さん



り、それが「生きがい」につながっているのではないかと感じました。(木下 久美)

■点訳グループ「みちしるべ」連絡先 073-461-5862
【写真左上】毎月2回の定例会の様。にぎやかに、でも真剣に作業が続きます。
【写真右上】点訳する際に使うパソコンの画面。文章をすべてひらがなにし、濁点・半濁点も1文字として数え、順に点字に変換していきます。
【写真右下】点字一覧表。点字の並び方には規則があります。
【写真左】点字テープが貼られた絵本。これで完成です。

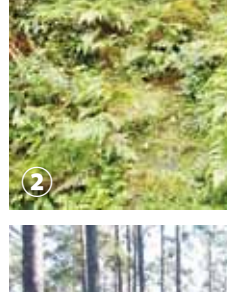
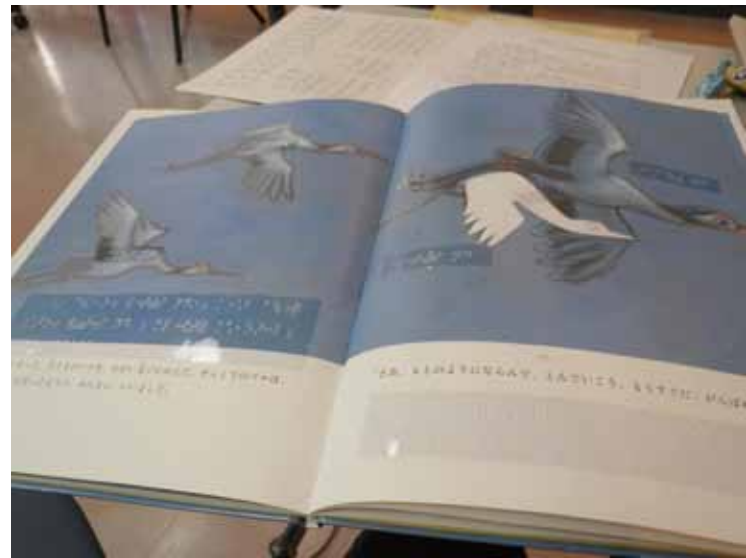
近畿労働金庫社会貢献プロジェクト「新宮市で道普請」実施しました

近畿労働金庫社会貢献プロジェクト「すまいる」の一環として、近畿労働金庫和歌山地区統括本部とわかやまNPOセンターの共催で、新宮市熊野川町での道普請活動を10月・11月に1回ずつ開催しました。第1回は10月5日に熊野川町志古地区の熊野古道・伊勢路本宮道の清掃活動を実施しました。地元住民有志のみなさんが取り組んでいる道普請をお手伝いしよう、と企画しましたが、あいにく台風が接近するという悪天候に見舞われ、参加者は18名になりました。参加者は3班に分かれて、それぞれカマやクワなどを手に、下草狩りなどを実施。うっそうとした山道が少し歩きやすくなりました。

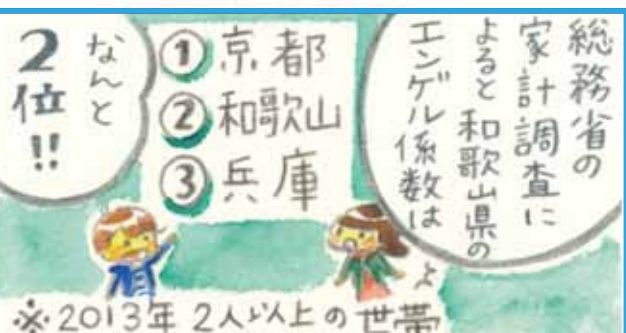
第2回は、世界的に珍しい川の世界遺産となっている熊野川の清掃を企画しましたが、新宮・東牟婁地域の労働組合のクリーンアップキャンペーンとタイアップしたこともあり、予想をはるかに上回る113名の参加をいただきました。そこで、前回の台風で十分な作業ができなかった伊勢路本宮道の道普請を急ぎよ作業場所として追加し、新宮市熊野川町田長(たなが)地区、音川地区、伊勢路本宮道の3班にわかれて活動を実施。田長地区では、熊野川川舟センターのご協力ですべてのゴミの撤去も行いました。

この日は第1回とは打ってかわって秋らしい晴天にも恵まれ、作業は順調に進み、心地よい汗を流すことができました。

近畿労働金庫、わかやまNPOセンターでは来年度も世界遺産エリアでの取り組みを実施する予定です。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。(志場 久起)



■当日の様相
①・② 10月8日の1回目の道普請活動。小雨が降る天候のなか、下草刈りや、小枝の撤去などをおこないました。
③ 11月15日の2回目の道普請活動の本宮道での道普請の様子。
④ 歩くにはまったく差し支えないくらいほど整備されました。
⑤ 熊野川河川敷の清掃活動。 ⑥ 川舟に乗って、下流のゴミ拾いにも出向きました。
⑦ 3年前の水害で流れ着いたままになっていた流木など多くのゴミが出ました。



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

●女性が安心して生活できる社会を目指して
高等教育機関コンソーシアム和歌山採択事業として実施。
日時 12月20日(土) 13:30～16:00
場所 和歌山大学地域連携・生涯学習センター
内容 講演「笑いと認知症」(和歌山医科大学附属病院神経内科・廣西昌也さん)、落語、こぼなしワークショップと実演
参加費 無料(申込み必要)
申込み・問い合わせ わかやま楽座会(090-2100-8263、FAX 073-472-3460、nope930@gmail.com)
●黒江煉瓦堂クリスマスコンサート
アート体験、スタンプラリー、落語会、蚕の市、カフェなども。
日時 12月21日(日) 10:00～
場所 黒江煉瓦堂と周辺
出演 宝子さん、津嶋佳奈さん、DUOPAGODA、小倉浩晃さん、岡本万貴さん
参加費 前売1,500円、当日2,000円(コンサート参加費)
問い合わせ・申込み 黒江まちかどクラシック・クリスマスコンサート実行委員会(073-482-0322・うるわし館)

●木津川計の一人語り劇場
地獄思想を振り返りながら今後の仏教の役割を考えます。
日時 12月14日(日) 13:30～15:30
場所 和歌山大学地域連携・生涯学習センター
講師 木津川計さん(「上方芸能」もと編集長)
参加費 500円(資料代)
定員 150名
問い合わせ 和歌山大学地域連携・生涯学習センター(073-427-4623)

●笑いで認知症を予防しよう
このほかの情報もたくさん掲載! 「わかやまイベントボード」URL
PC版 http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版 http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

